



原爆先生の特別授業を受講して

先生の話を聞いて、原爆のことについて、改めて知れました。今まで知らなかったことなごを聞いて、もう二度と戦争や、争いごとはしてはいけないことが分かりました。まだ、他の国でもテロや、争い、戦争がおこっているのので、原爆先生に教えてもらったことを忘れないでいたいのです。そして、どんなことがあっても、原爆で、傷をおっている人をやさしく接している軍隊さんのお話を聞いて、軍隊が、やらなければならぬことをしっかりと、せり、すばらしいと思いました。

そして、義三さんの(原爆先生の父)お話を聞いて、もろろ人苦しいこともあったからこそ私たちが未来にそれを伝えていくべきだと思いました。私は今度博物館に行きたいと思いました。すばらしいお話を聞いてうれしかったです。

6-1中村 あい



原爆先生の特別授業を受講して^{じゅこう}

池田さんへ

本日は原爆の悲さんさを教えてくださりありがとうございました。

私は、(1年前に広島県に家族旅行にいき原爆ドームに見学に

いきました。私はその時はまだ原爆のことについて全く知らず、ただ

「ぼくたんだがぼくはつしていすからこんでヒトがそれにまきこまれ

しんじゃたかなしいできごとた」としか思っていないでした。

またその見学した時、自転車(一輪車?)と一緒にうつっていた

男の子の写真がありました。私は小さいながら、6歳くらい

でたくなってしま、その男の子に同情しました。「毎日が生きられない

なんてかわいそう」と思いました。

そして、時は過ぎ、学校で戦後という社会の勉強の中で、

原爆について学びました。見学に行った時よりは、原爆に

ついての知識が増え悲さんさを思い知りました。

しかし、今日で、私は何もかもが変わりました。

と言っても周りの人が変わったわけではありません。

「自分が自分のままでいられること、周りが周りのままで

いられることも幸せで、当たり前ではない」と思い、

自分の心がゆれ重くなりました。特にゆれ重かったのは、

原爆ドームに展示されている、ひんかたたれている人の模^ま写^し

権名町小学校6年1組南場さよみ

裏で



原爆先生の特別授業を受講して

原爆先生へ、
金曜僕たちに特別授業をしてくれ
てありがとうございました。特別授業
を受けて原爆や戦争の怖さ、
またそれをまたしていけないことを
学びました。放射線、衝撃波、
熱風の三つの怖いことによつて苦しん
でる人がいた、今もいる事を考えると怖くて
とりはたか立ちます。先生の父が原爆
ドームの人が「きれいすぎる」と言った時、戦争の
苦しさを再現するのはとても難しいことだと
思いました。将来二度と原爆がどこにも落
とさないことを願っています。

6年1組 寺尾慶士朗



原爆先生の特別授業を受講して^{じゅこう}

原爆先生の話しをきいて、原爆はぜ
ったし) にいけは、ものだと思ひます。
なぜは、原爆を亡くした人もあるし、
それで くるしんだ人もいるからです。
ぼくのいとこは広島にすんでいます。
なので、原爆をドーナツやしりょうか
んに行つて見たいと思ひました。
なに、原爆には、太陽よりも1000℃
以上たかきことがあつて、
ほんやせんや、しょうイキは、体どを
しれてよかつたです。
なので、広島にいつたが、いじり、しつて
みたと思ひます。

6-1 島田 幸志郎



原爆先生の特別授業を受講して

原火暴先生へ

今回の授業を聞いて原火暴でどれだけ人が苦しんでくた
た事がわかりました。原火暴の時に生きていくのにどれだけ変ったの
かもわかりました。なので私は自分の命を大切にしたいからみんなの命を
守りたいです。

原井 美保



原爆先生の特別授業を受講して^{じゅこう}

原子爆弾について教えていただいた色々なことを学びました。心に残ったことがいくつかあります。

まず1つは「原子爆弾投下都市を決める条件」というものが機械的に住民のことを考えずに決められていたと知り衝撃を受けました。そしてその候補から実際に投下する都市は天候が決めてしまうということにも驚きました。

また、広島市の原子爆弾による死亡率は40%で5人に2人が死亡しているということにもおどろきました。

それから、原爆先生のお父さんの原爆の時の話を聞いて、本当におそろしいものだと思いました。

聞いただけでもおそろしいのに、実際自分の身に起きたらと思うとあづくこわいです。話を聞いて、私もおそろいロードを歩いてみた...と思いました。

原子爆弾について大切なことをたくさん教えていただき、本当にありがとうございました。

これからも心に残しておきたいと思います。

六年 - 組 中道 紗良



原爆先生の特別授業を受講して^{じゅこう}

原爆先生の話の前半部分の話し方が、実際に原爆を打けた時の広島にいたという原爆先生のお父さんのことを原爆先生が「私」と言ういい方だったので、実際にその場にいるようで、ゾッとしました。目の前で、大きなやけどを おい顔が赤くなっている人、皮が体からたれ肉がむき出しになっている人が頭の中では、きりとうがひきました。また、原爆の落ちた時の音があんなに激しく大きい音だったので、びっくりし、怖かただろうなと思いました。

今回の授業で、アメリカ軍はどうして広島にしたのか、原爆はどのくらいの大きさ、重さでどのくらいの熱さでどこに落とされたかなど初めて知ることがたくさんあってよかったです。しかし、今回の授業は正直怖かったです。か、人々のどうしても生きたいという思いや、義三さんなどの軍隊の助けたいという強い思いを知ることができました。

ありがとうございました。

6-1 奥野利音



原爆先生の特別授業を受講して^{じゅこう}

広島に原爆が落とされた日、時間などが学べました。また原子爆弾投下の条件や候補になった都市が学べて広島での原爆のことを詳しく知りました。

原爆が落とされた使ったラジオゾンについて詳しく知ることができました。

今から約5年前に起きた震災をニュースなどで知ると、広島に原爆が落とされた日のことを自分の中では思います。

貴重な体験ができました。

6-1 近藤 祐梧



原爆先生の特別授業を受講して

この授業をうけて原子爆弾というものはとても恐ろしいもので、たくさんの方が死んでいることがわかった。広島では、14万人死に、死亡率が40パーセントで絶対に投下してはいけないと思った。原子爆弾の表面の温度は約7000度で太陽が地上600メートルほどまでおりてくると同じで、川の水も一瞬で沸騰してしまうなんて、とても恐ろしいと思った。

6-1 上原 隆



原爆先生の特別授業を受講して^{じゅこう}

原爆先生は、ただただの はくせん
で、まことに おいしく いたしかか
もって いました。

ただ、おそろしき ぎょうの いち
ぎょうで かりました。

人の 心は なく、 かりすると
きいた ときは おどろきました。

それを知り、たまたま、「もたは
作らさず、おどろかせず」の いみ
が かりました ありがた
い ます。

6年係組 赤羽 祐太



原爆先生の特別授業を受講して^{じゅこう}

広島に原爆が落とされたことはもともと知っていたけれど改めて知ることができ、またその場にいらした人の気持ちも知ることができました。

そして原爆が思っていたよりも大変なことがわかりました。

この受講でさらに原爆を落としたり戦争をしてはいけないと思いました。

このことを忘れず"にしよう"と思います。
6-1 萩原 勇志



原爆先生の特別授業を受講して^{じゅこう}

今回の講話を聞いて、自分は原爆のこ
とについて体験もしていないし、全然
知らなかったけれど、当時をすごくおそろしい
もので思う景色に対してはなれないことか
と思いました。そして、絶対にこのことを忘
れず昔は、こんなすごくおそろしいこと
があったということを後世に伝えていかね
ければいけないと思いました。

6-1
加藤 健太



原爆先生の特別授業を^{じゅこう}受講して

広島に原爆が落ちたのは聞いていたけれど自分の想像
以上にとんでもないことがあったことを学びました。
この原爆先生の特別授業を受講して、
原爆のことや、原子力発電などをもっと
調べてみたいくなりました。
広島に落ちた原子力爆弾のことが、その時
のようすなどを教えてとてもよかったです。

和田 一希



原爆先生の特別授業を受講して^{じゅこう}

僕は原爆先生の話を聞くまでは、あまり原爆のことを知らなかったけど、話を聞いてくわしく知る事ができました。原爆先生の話は、原爆先生のお父さんである池田義三さんの実体験のことなど希少な話も聞けて良かったです。また、原爆がもたらす被害の大きさは、相当なものであり、一般人の命もろはうたごたらしいものであることも改めて感じました。そして、原爆には衝撃波・熱線・放射線という3つの破壊的な力があり、今もなお原爆を受けて原爆ほうで苦しむ人がいることを知りました。戦争は二度とあってはならないものだと思います。

丸澤蓮仁



原爆先生の特別授業を受講して^{じゅこう}

私は、今まで原爆投下について、「1945年8月6日に広島、8月9日に長崎」というた、た一行の言葉でおわらせていました。しかし、今回の話を聞いて、「広島に原爆が投下された」という言葉の裏にはとても深い事実があることを知りました。

そして私が一番おどろいたのは、温度のことです。太陽の温度が約 6000°C にたいして、原子ばくだんがはくはつしたまわりの温度は太陽をこえて約 7000°C ということにおどろきました。また、約 600m もはなれた地上でも 3000°C もあることにとてもおどろきました。

私は、今回の話をきいて、本当にそんなことがあったんだと思うと信じられず、なんともいえない気持ちになりました。

これから、世界の地球を持続させるためにも、核兵器を使わない、安全な世界にしていきたいです。

6-1 増村 優寿



原爆先生の特別授業を受講して

私は原爆先生の特別授業を受講して原爆のかきりしきを知りました。今でも原爆というものは知っていたけれど、そんなにかきりしい物だということとは特別授業を受講して初めて知りおぼろぎました。

きっと、原爆のことをあまり知らない人は私以外にもまだたくさんいると思うので、これからもたくさん広めてください。話をしているときにどうせんだかこと言われたのはあてくひんしきしたかきりしいことをしていただき、ためかけでもっと原爆のことを知れたと思います。一番特別授業を受講してひんくりしたことは原爆の熱さです。太陽が近づいてくるまで考えたていでもう一つです。でもあかけで原爆のことをよく知れたのでこれからもかきり、てください。

6年1組 六尋瑠花

志川 英人



原爆先生の特別授業を受講してじゆうこう

自分のおば'ちゃんか'ら火暴者
2世で'自分は4世'として'もかん'どら
しました。自分のおば'あちゃん'も
原火暴'に'かんする本'を'しゃべん'して
し'て'これ'で'11'2'内容'が'1'2'1'2
共感'できました。



原爆先生の特別授業を受講して^{じゅこう}

先日は原爆の授業をしていただき、ありがとうございました。原爆の恐ろしさ、悲惨さがよく分かりました。僕は原爆の名前が、少年という意味だということにおどろきました。なぜなら、原爆は、数えきれない苦しみと悲しみを与えたからです。また、原爆により、炭のようになり、死んでしまった人がいて、死ななくても、肌がただれて人の姿をしていないでよろよろと歩く人、暑さに川に飛び込んでゆでたこのようになっしまった人。原爆は人を簡単に殺してしまう、または傷をつけてしまうことが分かりました。今も世界には広島の数十倍、数百倍もの力を持った核爆弾があるそうです。広島の数百倍も非惨な死の方をする人がでてしまうのを防ぐために、働きたいです。



原爆先生の特別授業を受講して^{じゅこう}

今回は、私たちに原爆について授業をして下さり、ありがとうございました。

このような話は、なかなか知れない事だと思うので、良かったです。

人はいつ死んでしまうのか分からないうちに、助けてほしくても、助からない人がいるという事を学びました。

先生のお父さんは、若くして戦いに出て、自分の体験したことを伝えられる、とても強い人だと思いました。

国や人々のために戦う。それは、すごく大変だし、すごいことだと思いました。

いつ戦争が起るのか、いつ家族や友達、私、が死んでしまうか分かりません。

これから私は、人や自分の命を大切に、強く生きていこうと思いました。

今回は、本当にありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して じゅこう

ぼくは原爆先生の授業を受けて記めて、
原爆の恐ろしさを知りました。

ぼくは他にも本やいろいろな戦争資料館
に行きました。その中で一番先生のが分
かりやすかったです。それから広島と長崎の
リトルボーイとアットマンもちがうのを知り
ませんでした。リトルボーイは細長くアットマ
ンは横に1mもあつたのを知りました。

原爆先生のおかげでたくさん人の原爆のこ
とが分かりました。

原爆の放射線は今もたくさんの人を苦し
てしまっていることが分かりました。原爆でもし
助かたしとしてもその後放射線のおかげ
でたくさん人が死んだり病気をしました。
そして、原爆を聞かされた人は一人
にして消えたし聞くこともできませんでし
た。人が一人にして消えるなどおそろ
しくありませんでした。本当に原爆は
おそろしいんだなと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して^{じゅこう}

僕は原爆を受ける人々の映画や本を何回も読んだことがあります。その原爆の恐ろしさや被爆者のつらさ、その家族の悲しみなども理解していると思っていました。しかし、広島の救援に来た軍という安全な行動をしていた人でも原爆の後い症が残ってしま、たという話を聞き、多数の罪のない人々を殺してしまう原爆の恐ろしさを改めて実感することができました。そのため、このような原爆の話を聞くと、胸が痛くなるのですが、この原爆の話をする被爆者やその家族は減ってきており、原爆が忘れられてきています。だから、この事を言われた時に思い出すのではなく、被災者へのいたわりの思いを忘れることなく、原爆の恐ろしさや被爆者のつらさや家族の思いを心に留めて生きていこうと思うようになりました。



原爆先生の特別授業を受講して

金曜日には原爆が広島長崎に落とされた
のと共に、原爆のことを中心として説明して
くれてありがとうございました。

広島の本川にたしさんの死体がいっぱい
原爆から40年前の事を考えました。
そして、原爆の熱風や爆音が落ちた音
の最現を聞いて、この時はこんなうるさ
い音が鳴っていたことがすごいと思っ
ました。また、先生の父の話しを聞くと、
原爆時はつらい思いをした人がたくさん
いたし、物がどんどんはかき壊れていら
たことが分かります。

最後に、この授業を受けて、歴史を習った
ことより、もっと詳しく聞けてよかったです。

今後日本が戦争をしない平和な国に
なったらいいです。



原爆先生の特別授業を受講して^{じゅこう}

ぼくは、ごんかいの授業をうけて、お思
ことは、ぜたいに戦争をしてはいけな
いということも思いました。

なぜ戦争をしてはいけないうちで思たか
ていって、
何もしない人が亡くなるかたに
悲しい思いをしなけ
ばならないのか、と思
いました。なにか
の未来ではぜたいに戦争を
しないようにして
いきたいです。

そして、本当に感謝している
ので、おれは、ぜたいに
このことをおぼえてお
きたいということも
今回の授業で学
びました。おれが
うらやまに思
いました。

ぼくは今日でこのおれのことを
おれいにしていこうと思
いました。そして、この戦争の
ことを忘れてはいけ
ない事だと思
うので、このことを
これから未来にも自分
なりに
思
いました。

本当にありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して^{じゆうこう}

原爆先生の特別授業を聞いて、今までは原爆と聞いてもよく分からなかったけど、話しかつてもリアルで、なんじゃ今までより原爆のこわさが分かった。よりたくさんダメージを与えるために原子爆弾投下都市の条件が決められていて、おどろいた。そして原子爆弾のおそろしさは、すさまじい物だと思った。きかいかつあったら広島に行って原爆ドームを見学してみたい。この話を聞いたことによつて、見える風景は、まったくちがう物に感じるのではないかと思った。

日本にこのようなかこがかったことを、僕たちはきちんと勉強しておくれとはいけないと思う。今ある平和な時代をこの先も守っていくためには、二度と同じまちがいをしないことが大それたと感じた。



原爆先生の特別授業を受講して^{じゅこう}

助けたくても助けられない、助けでも
助かれない。そんな人たちのかわりに
自分たちが代わりに生きていて
あげようと思いをしました。

たくさんいかなことや、いいこと
があるかもしれないけれど
それにもたえておしたも月する
ことが大切だと学びました。

また こうい、たまかいがあった
ときの参考にになりました。

ありがとうございます。こころいすした。
見たこと聞いたこと思ったこと

事細かく教えてくれたのですこ

たくさんのお事を思いました。

楽しい気持ちも忘れるほど
怖いこともありました。

ありがとうございます。こころいすした。



原爆先生の特別授業を受講して^{じゅこう}

戦争のことについては、授業で勉強していたけれど原爆先生の話も聞いてその時の状況などをくわしく知ることができました。他にもアメリカ軍のことや原爆の衝撃波の速さなどを知ることができて良かったです。今では、あんなに辛い話や苦しい昔人などがかあったのかとうたがうくらいです。

この原爆で約14万人も死者がでています。この先のおなごやが二度とないよう祈ってほしいです。

先生の話も聞いておどろいたことばかりでした。

それは原爆の温度が太陽より高いことです。太陽の表面温度が6000℃に対して原爆の表面温度は7000℃。氷を知った時そんな温度が高ければこんな被害は出ると思いました。

ちなみに爆撃機「エノラゲイ」の名前の由来が機長の母親の名前だったことです。ここまで来て、どうして母の名前をつけたのか気になります。

これから原爆先生として活動がんばってください。そしてお元気です。はい。



原爆先生の特別授業を受講して^{じゅこう}

原爆先生の話を聞いて、よし
どうさんが体験した話や原爆につい
ての話が知らないことがたくさん
あって、京都に原爆が落とされそう
になっていたことや、きのこぐもがど
うしてなるのか、太陽の表面温度
より1000℃も熱いということなどが
知れてとてもよかったです。

よしどうさんが広島に行ったときに「おれいす
ぎる」と言っていたという話が戦争を
経験したよしどうさんだからこそ、
こんなものではなく、もっとよいもの
だったということが分かるのだと思います。

これから先はこれを知った僕たちが次
の世代の人たちに原爆のおそろしさな
どを伝えられるようにしたいです。



原爆先生の特別授業を受講して^{じゅこう}

今まで僕は、原子火暴弾、リトルボーイの事をただの強い火暴弾だと思っていたけど、原爆先生の授業を受けてあらためて、原子火暴弾の恐ろしさを知りました。

もし、まだ日本など他の国が戦争をされていてどんどん原子火暴弾を使っていたと思うと、とても怖いです。

原爆先生の授業のおかげで、原子火暴弾の力や怖さを知ることができました。

きっとその時、原子火暴弾を落としたパイロットの人も落とすのが、怖かったと思います。

僕も大人になったら原爆先生の話しを思いだして、日本や世界が平和に暮らせるようにしたいです。



原爆先生の特別授業を受講して^{じゅこう}

今回は、貴重なお話を聞かせてくれて、ありがとうございました。原爆当時の状況を、くわしく、正確に教えてもらいました。そのため、今までは原爆があったことを習っていたけれど、どれだけ深刻であったかは、考えたことがありませんでしたが、今回の授業を受けて、原爆の被害の深刻さを改めて感じることができました。日本が戦争をしないと言った理由もよくわかりました。今後、日本について学ぶとき、今回の授業をよく思い出して、より深く学習していきたいと思っております。ただ、1つ疑問だったことは、原子爆弾投下都市の条件のうちの、空襲がなかったということが含まれていた点です。これはひなんの経験が浅いと考えたからでしょうか。それとも①、②の条件のように被害がなかった都市に原子爆弾を投下することで効果を見やすくするためでしょうか。これからも、たくさんの人たちに原爆の事実を伝え、歴史を守っていただきたいと思います。



原爆先生の特別授業を受講して^{じゅこう}

原火暴先生の話を聞いて
もし原子火暴が今落ちてきたらどうなるかと思っ
て原火暴先生のお父さんが耳かきかたの毛
ぢうどかげについて運がよかたんだらうかと思
いました。

90分の話を聞いてるときに火暴弓単の重さが27、2
そんなもの近くについてきたら、東京縦列飛行機
原火暴先生のお父さんは1人の女性を耳かけた時
時感動しました



原爆先生の特別授業を受講して^{じゅこう}

今日は、2、3時間目にいそがしい中
来て下さってありがとうございます
でした。

私は、原爆についてはあまりくわしく
はないのですが、今日の授^{じゅ}講^{こう}では、原爆のことについてのこともしること
ができて良かったと思いました。

原爆のことは、少しだけ知っていたら聞いた
ことはありましたが、今日で良^よくしれたので、
良^よかったです。

今日は学校に来て下さってありがとうございます
でした。

今後も原爆について「いんとん」
知^ちってほしいと思^{おも}っています。

今後も、このような原爆が落とされ
ないように日本^にで、カバ——が
できるように一生けん命かんはって
日本を守りつづ、せぎのみかたで
ありたいです!!!



原爆先生の特別授業を受講して じゅこう

今日、原爆先生の授業を受けて、先生のお父さんの実話を聞いて、すごくこわかったけど、知れ度かったです。広島と長崎に爆弾が投下された大変だ、たことは知、ていたけど、こと細かくは知らな、たので、ほとんどの話にび、く、りました。広島市人口が35万人いるのに、対して被爆者が24万人、死者が14万人もいることに、しょうげきを受けました。戦争でたくさんの人か死ぬことを知、ているのだから、今も戦争をしている国は、やめた方が、良いと思う。日本のために戦、て戦争で亡、た方、いることは、忘れ、てはいけな、いと思う。



原爆先生の特別授業を受講して^{じゅこう}

ぼくは、今まで原火暴のことにクビには、入
ごとして自分は体馬灸していなからとあ
まり気にしていませんでした。今回原火暴
先生の父と世田義三さんの体馬灸をもと
にした話を聞いて原火暴のおそろし
さ、原火暴の被災者の状況を矢張り
改めて原火暴の恐ろしさを実感しました。
原火暴のせいでも今もなお苦しんでいる人
やその家族の思いが原火暴の恐ろしさを
後生や今の若い人に伝えないといけない
思いなんだと思います。ぼくは、体馬灸をし
ていないがそんなことがあつた時の広島
島や長崎や小倉の町の状況は話を
聞いたただけでも背中がゾクッとしました。
話を聞いたただけでゾクッとするぐらいな
ので現場すごいことになつていたのだと
わかります。今回はこんなすばらしい特
別授業をしていただいたことをありがと
うございました。



原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

今回の特別授業で改めて、原爆のおそろしさや、怖さを知ることができました。

また、資料や映像を通して、社会の授業で学んだよりも深く、そして原爆先生のお話を聞いて、詳しく学ぶことができました。

そして、家に帰って、話していた時に、「原爆が投下されたのは、日本だけ」ということを知りました。

この、おそろしい原爆のような出来事を二度とおこしてほしくありません。

そのためには、原爆先生からお聞きしたお話を私たちが後世に語りついでいかなければならないと思います。

今回のお話をしっかりと心に刻み、平和な世の中がいつまでも続くように私たちができることを考え、行動に移していけたらと思います。

特別授業をして下さり、ありがとう

ございました。



原爆先生の特別授業を受講して^{じゅこう}

私は今まで原爆・広島^の原爆の事をあまり知りませんでした。今日この授業を受けて原爆がもたらした言葉にはおさまりきれない。被害を知ることができました。また、私達が原爆ドームと呼んでいた建物が広島県産業奨励館であったことも初めて知りました。原爆で一瞬で骨組みだけになってしまったそうで、そのいかにとてもおそろしかったです。また、広島に投下された原爆リトリボーンをつんだエラゲイという爆撃機がチベットたいさの母の名前であることにおどろきました。今、私達は平和です。もちろんどこかの国では小さな戦争がおきているかもしれませんが、原爆の被害にあっている国はないです。私達が原爆のおそろしさを子孫へとかたきついでつづけることにより平和な未来があるのだと思いました。そして二度とこんな戦争をおこしてはならないと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して^{じゅこう}

80年くらい前、そんなことが起きたとは思っても
みなかた私が原爆先生の特別授業を受
講に思ったことは、2つあります。

1つ目は、原爆資料館での話です。
「きれいすぎる。」それを聞いて、すごく
おどろきました。私にとっては、その時画
面に映っていたマネキン人形が、とても
おどろおどろしく感じたからです。爆心
地に行くとき、よしろうさんが見た、「人
間のかたちをしたモノ」が、見てもいないの
に、おそろしく感じました。

2つ目は、もう二度と、たくさんの人達
が、悲しむことの無いようにしなければ
ならないということです。今は平和だけ
で、80年前には、日本が地獄のようにな
っていたことを、日本人は忘れちゃいけ
ないよ、思いました。私も、今回の特
別授業のことを忘れないようにしようと
思います。



原爆先生の特別授業を受講して^{じゅこう}

改めて原爆つまり戦争がおそろしいものか、してはいけないものか、なんて無駄なことなんだ、と思いました。

それと、原爆先生に質問があります。以前、ニュースで「原爆ドームはこわすぎる」などの声が上がっているということについて特集をやっていました。しかし原爆先生の祖父、池田 義三さんは「そんな生優しい物ではない」とおっしゃっていたと聞きました。それについてどのように感じるのですか。

#始めに書いたように、原爆や戦争についてのおそろしさを知ったので、そんな時代に生きていくれた命をつないでいるので、命も大切にしようと思いました。